

～ 沖縄日本から米軍基地をなくす草の根運動 ～

# 草の根ニュース

－ 独立しんぶん －

基地と主権侵害なくす憲法9条実現政府のために

■本部(東京) : 〒150-0042  
東京都渋谷区宇田川町 19-5 山手マンション 1001  
■電話・ファックス : 03-3461-5758 090-4175-2010(平山基生)  
■メール : kusanone@world.ocn.ne.jp  
■ホームページ : http://www.kusanone.org  
■郵便振替口座: 00190-5-611535 沖縄日本から米軍基地をなくす  
草の根運動  
全基地撤去 NOBASE の全国的市民団体へ前進を！ 草の根会員拡大を

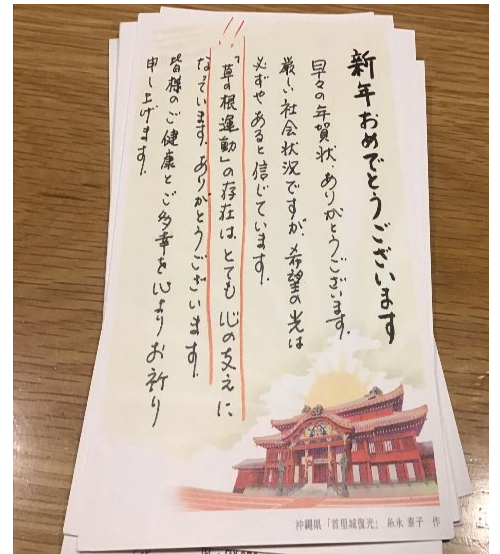
## 「ニュー山王ホテル(米軍センター)撤去を求める運動をつよめ 政府とアメリカに迫っていく」

## 「オスプレイ配備撤回をはじめ、草の根の運動とも連帯し、 異常な「米軍基地国家」の現状をただすたたかいに力をそそぐ」 基地なくす政党の東京・港地区委員会が決定

基地をなくす政党である日本共産党の東京・港地区委員会は、2020年末に会議を開き、次のことを決定しました。

「首都東京の横田基地や木更津基地にも、オスプレイ配備が強行された。オスプレイ配備撤回をはじめ、草の根の運動とも連帯し、異常な『米軍基地国家』の現状をただすたたかいを、『アメリカいいなり』政治打破と位置づけ、力をそそぐ。青山公園の原状回復と麻布米軍ヘリポート基地・ニュー山王ホテル撤去を求める運動は、地域住民・町会、労働者など、同じ願いをもつ人々との共同を思い切ってつよめ、「麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会」とともに、政府とアメリカに迫っていく」

また「沖縄に連帯し、普天間基地の無件撤去、新基地建設を許さないたたかいをすすめる」ことも決めました。



「草の根運動の存在は、心の支え」との年賀状  
が普天間基地の所在地沖縄県宜野湾市民から

ニュー山王ホテル(米軍センター)は、日本外務省と交互に、日米合同委員会の会場となっています。

日米合同委員会とは、日本国権の最高機関である国会はもとより、日本政府よりも事実上上位にあって、全土基地方式の約200の米軍基地とその使用を管理しています。

まさに、最高法規である日本国憲法よりも上に君臨する基地条約とその6条に基づく米軍地位協定を運用する日本沖縄の民族支配の機関です。

千葉一成港地区委員長の話

【千葉委員長の談話を頂く。例えば一案として、「日本共産党は、綱領で『さしあたって一致できる目標の範囲で統一戦線を形成し、統一戦線の政府をつくるために力をつくす』ことを決めています。『日米安保条約を、条約第10条の手続き（アメリカ政府への通告）によって廃棄し、アメリカ軍とその軍事基地を撤退させる。対等平等の立場にもとづく日米友好条約を結ぶ』こともめざしています。この立場から、港区内の基地をなくす闘いを日本沖縄国内の全基地撤去の闘いと結び

### 読者の声

## 「草の根運動は、心の支え」

普天間基地のある宜野湾市から年賀状

前名護市長稲嶺進さんから

米軍＝自衛隊のための軍事研究を拒否する  
日本学術会議へ 違憲不法介入  
対米従属の管政権、「学問の自由」(憲法23条)  
じゅうりんの暴挙 戦後かつてない民主主義危機に「日本沖縄 働く全国の人たちは立ち上  
生青年、市民、国民、働く全国の人たちは立ち上  
がろう！

次の総選挙で菅内閣を打倒し、立憲野党政府樹立を！

崩してくれることを待っている！全基地マップの包みの山

全基地マップ普及運動にご協力を！！

次の総選挙勝利で「沖縄建白書」実現政府樹立して辺野古新基地中止させ、197の全基地撤去政府樹立への重要な第1歩を踏み出しましょう！

米軍基地をなくす草の根運動は、昨年末、2万枚の全基地マップを発送し、全力で普及に乗り出しました。防衛省は、作意をもって基地統計を作り、全日本の

197の米軍基地(ウィキペディア「米軍基地」)を、131と過少に示し、119もある「自衛隊基地で米軍基地として使われている基地」(2-4-bと呼びます)を全部表示せず、日本の全土を基地とする「全土基地方式」をあたかも沖縄県にだけ集中しているかのように小細工して、沖縄県民と本土の人びとを分断することに、一定の成功を収めています。

全世界で最も基地が集中している「日本沖縄」国の中でさらに沖縄県に集中しているという「基地集中の2重構造」から1つの集中だけを殊更に強調することによって、「日本沖縄国」への基地集中から国民の目を逸らそうとしています。

このことによって、「構造的対米従属」を打ち破る、全基地撤去の運動発展をおし止めようとしているのです。

1束(包)千枚の基地マップは、現在8束(包)8千枚が活用されています。残り1万2千枚を急速に国民県民に普及して、「基地集中の2重構造」を国民に知らせましょう。

草の根運動事務局は、この基地マップを家族友人知人に手渡す運動を提唱しています。活用される方には、割引提供も致します。お申し込みください。

基地マップ手渡し運動の第一歩の成功は、基地なくす政府樹立への世論形成にとって、非常に重要な一歩です。

勇気ある「草の根ニュース」読者の皆様のご協力が期待されています。



**編集後記** 二月から三月にかけて、日本沖縄国内での米軍と米軍に従属する自衛隊の動きは、あわただしいものがありました。千葉県木更津、鹿児島県馬毛島、沖縄・高江、南西諸島全域です。コロナは、全国の基地にひろがっています。「草の根ニュース」がとりあげたこれらの事例は、ほんの数例です。米軍と自衛隊は「やりたい放題」です。しかし米軍自衛隊のこれらの動きに対して草の根から民衆は立ち上がっています。民衆の動きを全国的な単一組織に結集していかなければなりません。全国組織というのは、超党派の個人でつくる地方組織の集合体です。自主的に行動する地方組織が集まって、単一の全国的組織体へ結集して初めて大きな力を発揮するのです。この「個人加盟の単一の全国的組織体」こそが全基地撤去、「日本沖縄国」の独立と主権回復の力になります。(H)

## 草の根運動運営委員 ZOOM 会議開く

1月 zoom 会議は 1月12日火曜日  
2021年1月23日に学習会

コロナ禍の中、草の根運動も会議を開くことが難しく、重要な意思決定を ZOOM 会議で行うことを強いられています。

この間、9月29日、10月20日、12月1日に会議を開き、戦争法反対の政府への基地なくす政党の入閣をどう考えるか、全国組織への発展のための地方組織づくりをどう進めるか、会員拡大をどう勧めるか、など重要議題を討議してきました。また2021年総会、2022年の沖縄「返還復帰」50年を「真の沖縄返還復帰実現」へのスタートの年にする事などを討議しています。

次回運営委員 ZOOM 会議は、1月12日火曜日です。

2021年1月23日には、東京渋谷で学習会を開きます。学習会テーマは「日本沖縄に君臨する日米合同委員会」です。



# 「軍港移設に反対」浦添市議の伊礼悠記氏、市長選に立候補を正式表明

2020年12月24日 08:41 沖縄タイムス+プラス ニュース



浦添市長選へ立候補を表明する伊礼悠記氏＝2020年12月23日、浦添市仲間・アイム・ユニバースでだこホール市民交流室

任期満了に伴う来年2月7日投開票の浦添市長選へ、浦添市議の伊礼悠記氏（38）が23日、市内で会見を開き、立候補を正式に表明した。無所属で立候補する。伊礼氏を支える市民団体によると、社大、社民、共産などの支持を受ける予定。

伊礼氏は、市議2期8年間で一貫して那覇港

湾施設（那覇軍港）移設に反対してきたとし、「きれいな西海岸の海を埋め立てて軍港を造ることは絶対に許すことはできない」「SDGs（持続可能な開発目標）の観点からも認められない」などと強調した。西海岸開発については「市民の声を拾い上げたい」と述べるにとどめた。

新型コロナウイルス対策では、医療現場の疲弊や自殺者数の増加に触れ「国の制度のはざまでこぼれ落ちたものを浦添市で拾い上げていく」と語った。ジェンダー平等や子どもの人権について「それぞれの多様性を認め合える浦添市を目指す」と力を込めた。

支援体制では「立場を超えて共闘するために（共産党を）離党した。オール沖縄の枠組みを超える市民党として戦う」と説明した。

伊礼 悠記氏（いれい・ゆうき）1982年12月10日生まれ。浦添市内間出身。県立看護大卒。初出馬の2013年と17年の市議選でトップ当選を果たした。

## また 新基地！

**この海 米軍港にするな 怒!!**  
**沖縄・浦添 「移転やめ返還を」高まる声**

独立なくして平和なし 主権なくして人権なし 独立主権国家を取り戻さなければ  
私たち日本人は、子ども達女性国民の安全と命すら、米軍から守れません！  
**全基地撤去の個人加盟全国単一市民団体＝草の根運動をつくるために、会員を、悠然と全力で 増やしましょう！**  
全都道府県に県本部、全市区町村に支部、地域職場学園絆に班（3人からの草の根の会＝基礎組織）を作りましょう 心ある身近な人 遠方の友人などを草の根会員に！